



和訳文

## BNP パリバ・グループ

## 2009年度第3四半期決算報告書

## 2009年度第3四半期：極めて好調な業績を達成

	当四半期	前年同期比
株主帰属当期純利益	13億500万ユーロ	44.8%増
うち BNP パリバ・フォルティス	2億7700万ユーロ	

## 事業部門(BNP パリバ・フォルティスを除くリテール・バンキング、CIB、資産運用および証券管理の各部門)

	当四半期	前年同期比	前四半期比
営業収益	86億3200万ユーロ	14.3%増	4.6%減
営業総利益	40億2000万ユーロ	31.8%増	1.0%減
税引前利益	20億7300万ユーロ	76.1%増	1.4%増

## リスク費用は第2四半期と比べ安定推移

高水準で安定推移：23億ユーロ(前四半期比1.9%減)

## 2009年度9ヵ月間累計：力強い利益創出力を証明

- 当期純利益： 44億6700万ユーロ(前年同期比1.8%増)
- 年率換算の税引後株主資本利益率： 11.0%(前年同期は13.1%)
- 1株当たり当期純利益(9ヵ月間)： 3.8ユーロ(前年同期は4.7ユーロ)

## 力強い利益創出力のおかげでソルベンシーがさらに強化

	2009年9月30日	2009年6月30日	2008年12月31日
TIER 1 比率	10.0%*	9.3%	7.8%
エクイティ TIER 1 比率	7.8%*	7.2%	5.4%

\* プロ・フォーマ・ベースの数値で、資本増加分と無議決権株式の買戻額を含む

BNP パリバ取締役会は 2009 年 11 月 4 日に開催されました。ミシェル・ペブロー会長が議長を務め、当グループの 2009 年度第 3 四半期および 9 ヶ月間累計の決算が取締役会により承認されました。

## 純利益が 13 億ユーロに達し、力強い利益創出力を証明

当四半期においては、景気の低迷に変化はなかったものの資本市場が正常化し始めたため、BNP パリバ・グループの業績は再び好転しました。株主帰属当期純利益は 13 億 500 万ユーロ（うち、BNP パリバ・フォルティスの貢献額は 2 億 7700 万ユーロ）となり、2008 年度第 3 四半期と比べ 44.8%増加しました。

当グループの新しい連結範囲における営業収益は 106 億 6300 万ユーロとなり、2008 年度第 3 四半期と比べ 40.0%増加しました（この額は、当グループの債務の再評価に伴う影響額マイナス 3 億 800 万ユーロを含んでおり、2008 年度第 3 四半期における同影響額はプラス 1 億 2300 万ユーロでした）。営業費用は 30.2%増の 60 億 3700 万ユーロとなり、営業総利益は 55.3%増の 46 億 2600 万ユーロとなりました。この堅調な業績に加え、リスク費用の増加（15.5%増）が限定的で 23 億ユーロに留めることができたため、当グループは、23 億 2600 万ユーロの営業利益をあげました。この額は、リーマン・ブラザーズの破綻があった 2008 年度第 3 四半期の営業利益の 2 倍を超える額です。

2009 年度 9 ヶ月間累計については、当グループの営業収益の合計は 301 億 3300 万ユーロ（2008 年度 9 ヶ月間累計比 33.8%増）となりました。また株主帰属当期純利益の累計は 44 億 6700 万ユーロとなり、リスク費用が倍増したにもかかわらず前年同期と比べ 1.8%増加しました。

普通株式 1 株当たり当期純利益は 3.8 ユーロでした。また年率換算株主資本利益率は 11.0%（2008 年度 9 ヶ月間累計は 13.1%）でした。

## 極めて堅調な業績

当四半期においても、当グループの全事業部門は引き続き事業を発展させ、当グループの業績に貢献しました。

### リテール・バンキング

#### フランス国内リテール・バンキング(FRB)事業

フランス国内リテール・バンキング事業のセールスおよびマーケティング牽引力はその力強さを維持しました。ローン残高は、2008 年度第 3 四半期と比べ 43 億ユーロ増加しました（3.6%増）。モーゲージ残高も極めて力強い伸び（4.5%増）を示しましたが、コーポレート・ローン残高の伸びは需要の低下により失速（1.9%増）しました。これに関連し、リテール・バンキング・ネットワークは、資本強化に焦点を当てた特別なソリューションを提供して中小規模企業を支援するためのさまざまな取り組みを可能な限り実施しました。預金残高は、市場金利連動型預金の魅力が薄れたことにより預金構成が改善（要求払い預金が 10.1%増加）したため、2008 年度第 3 四半期と比べ 29 億ユーロ増加しました（3.1%増）。2009 年度第 3 四半期においては、オフバランスとなっている預金に有利となる顧客の裁定取引により、投資信託（20 億ユーロの流入）や生命保険

商品への資産流入が極めて堅調でした。このため BNP パリバは、2009 年度 9 ヶ月間累計では、これら 2 つの商品における市場シェアを拡大しました<sup>1</sup>。

営業収益<sup>2</sup>は合計で 15 億 2500 万ユーロとなり、2008 年度第 3 四半期と比べ 4.1%増加しました。この力強い増益は、これまで以上にバランスのとれたものです。特に要求払い預金や手数料収入が増加(2.5%増)したことで受取利息純額が 5.3%増と好調を維持し、調達コストを上げる要因となるベシスリスクが緩和の傾向にあったことから金融手数料の減少が 3.1%に抑えられ、また料率が安定推移する中で取引量が増加したため銀行業務手数料が 5.1%増加しました。

この営業収益の急増により、FRB は、最近締結した年俸に関する合意の影響により営業費用<sup>2</sup>が 3.0%増加したにもかかわらず、1.1 ポイントの正のジョーズ効果をあげると共に、営業総利益<sup>2</sup>を 2008 年度第 3 四半期と比べ 6.6%増加させることができました。

リスク費用は 43 ベシス・ポイント<sup>3</sup>と平均的な水準を維持し、フランス国内リテール・バンキング・ネットワークの市場危機への対応力を証明しました。当四半期のリスク費用は、低水準(16 ベシス・ポイント<sup>3</sup>)であった 2008 年度第 3 四半期と比べ増加しましたが、今年度第 2 四半期(51 ベシス・ポイント<sup>3</sup>)比では減少しました。減少の理由は、法人顧客に伴うリスク費用が減少し、個人や専門家顧客に伴うリスク費用が安定推移したことです。

フランス国内プライベート・バンキングによる当期純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後、PEL/CEL の影響を除いた FRB の税引前利益は 3 億 4700 万ユーロとなり、2008 年度第 3 四半期と比べ 9.9%減少しました。

2009 年度 9 ヶ月間累計については、営業収益<sup>2</sup>が若干増え(1.9%増)、営業費用<sup>2</sup>が 0.7%増加したため、2009 年度の目標である 1 ポイントを上回るジョーズ効果が生じました。コスト/インカム率<sup>2</sup>は 65.3%となり、当期中に 0.7 ポイント改善しました。

リスク費用は 43 ベシス・ポイント<sup>3</sup>(2008 年度 9 ヶ月間累計では極めて低水準の 14 ベシス・ポイント<sup>3</sup>)でした。フランス国内プライベート・バンキングによる当期純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後の税引前利益は 11 億 8500 万ユーロとなり、リスク費用が 3 倍に増加したにもかかわらず 10.7%減に留まりました。

### **BNL バンカ・コメルシアーレ(BNL bc)**

BNL bc は事業発展計画の実施を継続しました。個人の当座および預金口座の純増数は 1 万 700 口座で、2009 年度 9 ヶ月間累計の口座開設数は 4 万 4,700 口座(前年同期は 3 万 6800 口座)となりました。ローン残高は、個人顧客向けローンと法人顧客向けローンの両方において引き続き力強い伸び(2008 年度第 3 四半期比 4.2%増)を示しました。しかし預金残高は、法人顧客向けの市場金利連動型預金の落ち込みが原因で減少(7.2%減)しました。BNL bc は、金融貯蓄商品(特に、そのシェアが当四半期の総資産流入の 10.1%<sup>4</sup>となった生命保険商品)で引き続き市場シェアを拡大しています。

<sup>1</sup> 出典：Europerformance(投資信託商品)、FFSA(生命保険商品)

<sup>2</sup> フランス国内プライベート・バンキングの 100%に関して、PEL/CEL の影響を除く

<sup>3</sup> バーゼル I 基準に基づくリスク加重資産

<sup>4</sup> 出典：ANIA

営業収益<sup>5</sup>は 7 億 3700 万ユーロとなり、2008 年度第 3 四半期と比べ 3.8%増加しました。増益の理由は、各預金に伴う利鞘の減少によるマイナスの影響が生じたにもかかわらず、金融手数料とローン残高が大幅に増加したことです。

優れた管理策により営業費用<sup>5</sup>が 1.2%減少したため、営業総利益は 2008 年度第 3 四半期と比べ 11.5%増加しました。

1 億 7300 万ユーロに達したリスク費用は、特に法人顧客関連部門において増加しました。リスク費用は 113 ベーシス・ポイント<sup>3</sup>(前年同期は 79 ベーシス・ポイント<sup>3</sup>)でした。

イタリア国内プライベート・バンキングによる当期純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後の BNL bc の税引前利益は 1 億 3500 万ユーロ(2008 年度第 3 四半期は 1 億 6400 万ユーロ)となりました。

2009 年度 9 ヶ月間累計については、営業収益が 4.7%増加<sup>5</sup>し、営業費用<sup>5</sup>が 0.4%減少したため、営業総利益<sup>5</sup>は 2008 年度 9 ヶ月間累計と比べ 12.9%の大幅増となり、2009 年度の目標である 5 ポイントを上回る 5.1 ポイントの正のジョーズ効果が生じました。この好調な業績は、コスト／インカム率のさらなる大幅な改善(前年同期と比べ 3 ポイント改善し 58.6%となった)に反映されています。

イタリア国内プライベート・バンキングによる当期純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後の税引前利益は 4 億 7100 万ユーロとなり、リスク費用が 60%急増したにもかかわらず 10.8%の減少に留まりました。

## バンクウェスト

米国での経済危機に対応するための取り組みを継続した結果、バンクウェストの営業収益は 5 億 4200 万ユーロとなり、2008 年度第 3 四半期における有価証券の減損の影響額<sup>6</sup>と、為替レートの変動による影響を除外した場合には安定推移しました。純利鞘は 3.06%となり、2008 年度第 3 四半期(3.22%)と比べ減少しました。減少の主な理由は、2008 年度第 4 四半期において金利が急落し、特にコア預金の好調な増加(15.6%増)により今年度期首以降金利が安定推移したことです。

営業費用は 2 億 6900 万ユーロとなり、為替レートの変動による影響を除外した場合で 3%減少しました。これは、当初のスケジュールを前倒して実施したコスト削減策の初期効果によるものです。

リスク費用は 3 億 4200 万ユーロとなり、当四半期においても増加しており、353 ベーシス・ポイント<sup>3</sup>(2008 年度第 3 四半期は 132 ベーシス・ポイント<sup>3</sup>、2009 年度第 2 四半期は 286 ベーシス・ポイント<sup>3</sup>)に達しました。これは、コーポレート・ローンの悪化は鈍化したものの、個人向けモーゲージにおける滞納が増加したことによる影響を受けています。投資ポートフォリオに対する引当金は、2009 年度第 2 四半期と比べ安定推移しました。

税引前損失合計は 6900 万ユーロ(2008 年度第 3 四半期においては 5000 万ユーロの税引前利益)でした。

<sup>5</sup> イタリア国内プライベート・バンキングの 100%に関して

<sup>6</sup> ファニーメイとフレディマックの優先株に伴う 1 回限りの損失(8700 万ユーロ)

2009 年度 9 ヶ月間累計については、営業収益<sup>7</sup>が 3.7%増加し、営業費用<sup>7</sup>が 4.2%増加(FDIC に課された 1 回限りの預金保険評価費用を除いた場合 1.2%増加)しており、営業総利益<sup>7</sup>が 2008 年度 9 ヶ月間累計と比べ 3.1%増加しました。コスト／インカム率は 54.4%となり、当期は 0.4 ポイントの緩やかな増加に留まりました。

税引前損失合計は 1 億 6800 万ユーロ(前年同期は 3 億 1600 万ユーロの税引前利益)となりました。損失の理由は、米国における経済危機に伴いリスク費用が 3 倍に増加したことにあります。

### エマージング・リテール・バンキング

各新興市場におけるリテール・ネットワークは、景気の低迷(地域により状況は異なる)に対応するための取り組みを継続しました。当四半期においては、モロッコ(8 店開設)やエジプト(4 店開設)では引き続き支店を開設しましたが、ウクライナでは 31 の支店を閉鎖しました。同様に、地中海沿岸諸国では人材を採用しましたが、トルコやウクライナでは人材を削減しました。

営業収益<sup>8</sup>の合計は 4 億 400 万ユーロとなり、2008 年度第 3 四半期と比べ 6.0%減少しました。減益の理由は、あらゆる国(特にトルコ)において預貸利鞘にかかる金利が下がったことに伴うマイナスの影響を受けたことと、当期中に(特にウクライナにおいて)ローン残高<sup>8</sup>が減少(5.7%減)したことです(2009 年 9 月 30 日現在では 37 億ユーロ、2008 年 9 月 30 日現在では 52 億ユーロ)。

営業費用<sup>8</sup>は前年同期と比べ若干増加(6.4%増)しました。同費用は地中海沿岸諸国における投資の影響額を含んでいます。

リスク費用は、2 億 1900 万ユーロまたは 342 ベーシス・ポイント<sup>3</sup>となり、低水準を維持した 2008 年度第 3 四半期と比べ 1 億 7600 万ユーロ増加しました。増加の理由は、特に、ウクライナにて 9800 万ユーロの追加引当金を計上し、2008 年度期首以降のウクライナにおける引当金設定合計が 6 億 6200 万ユーロに達したことにあります。

特にウクライナにおける深刻な経済危機が原因で、税引前損失は 7900 万ユーロとなりました。

2009 年度 9 ヶ月間累計については、営業収益<sup>8</sup>が 8.5%増加し、営業費用<sup>8</sup>が 11.5%増加した他、リスク費用が急増して 292 ベーシス・ポイント<sup>3</sup>(2008 年度 9 月 30 日現在では 59 ベーシス・ポイント<sup>3</sup>)に達しており、税引前損失 7800 万ユーロが発生しています。これに対し 2008 年度 9 ヶ月間累計では、1 億 4800 万ユーロの 1 回限りの項目(TEB シゴルタとレバノンでの事業の売却に伴う営業外キャピタル・ゲイン)があり、5 億 7400 万ユーロの税引前利益が発生しました。

<sup>7</sup> 為替レートの変動による影響を除外した場合

<sup>8</sup> 連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合



## パーソナル・ファイナンス

2008 年度第 3 四半期と比べ 11.2%増加した営業収益は、特にフランス、スペイン、イタリア、およびブラジルにおいて力強い成長を維持しました。この増益は、借換費用が減少したことや、連結残高が当期中に 3.8%増の 791 億ユーロとなったことにより牽引されました。

導入済の体系的なコスト削減策の影響や、マーケティング費用の短期的な削減により、営業費用が激減(2008 年度第 3 四半期比 5.6%減)しました。これにより当期中の営業総利益は 30.4%増加して 5 億 8700 万ユーロに達しました。

景気の後退や失業率の増加によりリスク費用が増加し、5 億 100 万ユーロに達しました。当期のリスク費用は 340 ベーシス・ポイント<sup>3</sup>(2008 年度第 3 四半期は 236 ベーシス・ポイント<sup>3</sup>、2009 年度第 2 四半期は 313 ベーシス・ポイント<sup>3</sup>)です。

この状況においては、9700 万ユーロの税引前利益は、高い危機への対応力を反映しており、当期中に急増した営業総利益(1 億 3700 万ユーロ増)は、リスク費用の増加(1 億 7100 万ユーロ増)の大部分の吸収に寄与しました。

2009 年度 9 カ月間累計については、優れた営業収益牽引力(12.7%増)と優れた営業費用管理策(0.8%減)が、パーソナル・ファイナンス部門の営業総利益の大幅増(29.0%増)に寄与しました。これにより、リスク費用が 5 億 4900 万ユーロ増加し 314 ベーシス・ポイント<sup>3</sup>(2008 年度 9 カ月間累計では 206 ベーシス・ポイント<sup>3</sup>)に達したにもかかわらず、税引前利益(3 億 4300 万ユーロ)の減少額は 1 億 6400 万ユーロに留まりました。

## エクイップメント・ソリューション

特に英国において中古車価格が回復したおかげで、エクイップメント・ソリューションの営業収益は 2 億 9200 万ユーロとなり、2008 年度第 3 四半期と比べ 6.6%増加しました。この増益と、優れた管理策により安定推移した営業費用により、営業総利益が急増(18.9%増)し、当期中にはリスク費用が急増(59%増)したものの、税引前利益は 2008 年度第 3 四半期と同水準の 5500 万ユーロを維持しました。

2009 年度 9 カ月間累計については、営業収益が激減(9.4%減)し、営業費用の削減額が少なく(1.3%減)、リスク費用が増加(45.8%増)したため、当業務部門の税引前利益は 7400 万ユーロ(2008 年度 9 カ月間累計では 1 億 9400 万ユーロ)に留まりました。

## 資産運用および証券管理事業部門

当四半期における資産運用および証券管理事業部門への資産流入額の合計は 71 億ユーロでした。資産運用業務部門(主にマネー・マーケット・ファンド商品)への資産流入額は 48 億ユーロで、保険業務部門(主に一般勘定)への資産流入額は 10 億ユーロでした。これらの額は、リスクを可能な限り回避したいという投資家の姿勢を反映しています。これら好調な資産流入と、株式市場の各種指標の上昇による業績の押し上げ効果により、運用資産残高は 2009 年 6 月 30 日の水準と比べて 6.0%増加し 5770 億ユーロに達したため、2 年未満で、2007 年度末の水準を回復しました。

この運用資産の増加(2008 年 9 月 30 日比 6.4%増)が牽引力となり、当事業部門の営業収益は 2008 年度第 3 四半期と同水準の 12 億 700 万ユーロとなりました。資産管理(富裕層向け資産運用)業務部門の営業収益は、運用資産の増加と新規獲得が牽引力となり、9.5%増加しました。保険業務部門の営業収益(8.7%減)は、一般勘定の引当金の積み増しの影響を受け、証券管理業務部門の営業収益(7.4%減)は、取引量の減少や預り資産の資金化に要する期間の金利コストの上昇に伴う利鞘の減少の影響を受けました。

全業務部門でコスト削減策を実施した結果、営業費用は、僅かに減少(0.4%減)して 8 億 5200 万ユーロとなりました。

これらにより、フランスおよびイタリア国内プライベート・バンキングによる利益の 3 分の 1 を考慮した後の当事業部門の税引前利益は 3 億 7200 万ユーロとなり、当事業部門は力強い利益創出力を示しました。この利益は、リーマン・ブラザーズといくつかのアイスランドの銀行の破綻により 1 回限りのリスク費用が生じた 2008 年度第 3 四半期における同利益の 3 倍に近い額です。

2009 年度 9 ヶ月間累計については、当事業部門の営業収益は 35 億 6100 万ユーロとなり、極めて高水準であった 2008 年度 9 ヶ月間累計と比べ 7.8%の減少に留まりました。また営業費用は若干減少(1.9%減)しました。当事業部門の事業にとっては厳しい市場環境の中で達成したこの堅調な業績や、リスク費用の急減により、税引前利益は 9 億 9300 万ユーロとなり、前年同期と比べ 9.7%の減少に留まりました。この結果は、市場危機への優れた対応力を示しています。

全業務部門でプラスとなった純資産流入額の合計は 270 億ユーロ(2008 年度 9 ヶ月間累計では 116 億ユーロ)となり、年率換算資産流入率を、業界最高水準の 7.2%(資産運用業務部門では 9.1%、プライベート・バンキング部門では 5.1%)に押し上げました。

### コーポレートバンキング・投資銀行(CIB)事業部門

CIB 事業部門は、季節固有の影響を受けたにもかかわらず、継続的に顧客の高い需要が維持されたことと、リスク費用が急減したおかげで、当四半期においても堅調な業績を達成しました。この堅調な業績は、市況の改善とともに当事業部門の欧州におけるリーダーとしての地位を反映しています。

営業収益の合計は 29 億 3400 万ユーロとなり、金融危機により減少した 2008 年度第 3 四半期の営業収益と比べ 42.6%増加しましたが、前四半期と比べると若干減少(12.4%減)しました。

フィクスト・インカム業務部門の営業収益は 15 億 5100 万ユーロ(前四半期は 19 億 3100 万ユーロ)となり、依然として好調でした。当業務部門は、回復した金利商品やクレジット商品の分野で好調を維持しました。デリバティブ(特にフロー商品)に対する顧客の需要も高いものでした。当業務部門は、ユーロ建て社債の発行額で再び第 1 位を獲得し、ドル建て社債の発行額でも順位を上げました。この好調な業績は、特にベーシックな商品におけるビット・オファー・スプレッドが引き続き縮小したことに伴うものです。

株式およびアドバイザー業務部門の営業収益の合計は 6 億 2000 万ユーロ(2009 年度第 2 四半期は 7 億 1000 万ユーロ)となり、取引量や営業収益が従来の平均的なレベルに戻ったことを証明しました。当業務部門では、事業法人顧客による、株式への転換権付債券の発行を多数手がけました。フロー商品については、機関投資家の取引需要は引続き底堅いものがありました。仕組み商品関連業務においては、ボラティリティが低く元本確保型の新商品に関心のある個人投資家が徐々に戻ってきています。

ファイナンス業務部門の営業収益は 7 億 6300 万ユーロとなり、2008 年度第 3 四半期比では 10.6%、前四半期比では 7.5%増加しました。好調だったストラクチャード・ファイナンスや、エネルギー・ファイナンスおよびコモディティ・ファイナンス業務が、特にアジアやコーポレート・アクイジション・ファイナンス業務における競争の激化による利鞘の低迷を補いました。リスク加重資産はさらに減少しました。

当業務部門の営業費用は 11 億 2200 万ユーロとなり、2008 年度第 3 四半期と比べ 13.4%増加しました。営業収益が急増(42.6%増)した割に営業費用の増加割合が限定的だったことは、IFRS 第 2 号(株式報酬)に従い株式で支払うべき変動報酬の繰延部分に関し G20 指針を導入したことによる会計上の影響を反映しています。

当業務部門のリスク費用は 5 億 7200 万ユーロとなり、金融危機の影響を大きく受けた前年同期のリスク費用と比べ半減しました。資本市場の正常化傾向が続いたおかげで、市場のカウンターパーティと関係のあるリスク費用は 2 億 6800 万ユーロとなり、2009 年度第 2 四半期と比べ 2900 万ユーロ減少しました。ファイナンス業務部門におけるリスク費用の合計は、3 億 400 万ユーロ(または 86 ベーシス・ポイント<sup>3</sup>)となりました。この費用は、貿易関連事業にかかるポートフォリオ・ベースで 7000 万ユーロの引当金を含んでおり、前四半期と比べ 1 億 4300 万ユーロ(121 ベーシス・ポイント<sup>3</sup>)減少しました。

これらにより、CIB 事業部門の税引前利益は 12 億 3600 万ユーロ(金融危機の最中であった 2008 年度第 3 四半期は 3800 万ユーロ、前四半期は 11 億 4500 万ユーロ)となり、当四半期においては特に力強いものとなりました。

2009 年度 9 ヶ月間累計については、CIB 事業部門の営業収益は 99 億 8100 万ユーロと記録的な水準(2008 年度 9 ヶ月間累計は 52 億 2100 万ユーロ)に達しました。また税引前利益の合計は、リスク費用が 72%増加したにもかかわらず、36 億 1000 万ユーロ(前年同期は 8 億 7900 万ユーロ)となりました。

この極めて優れた業績は、CIB 事業部門のフランチャイズの質が極めて高いことや、新たな市場環境に対応しようという同部門の積極的な姿勢を示しています。またこの業績は、顧客の高い需要や市場リスクの大幅な減少(平均 VaR が前年度に比べ 30%減少したことが証明している)により牽引されたものであるため、当部門のビジネス・モデルが顧客主導型であることを裏付けています。

## BNP パリバ・フォルティス

当四半期は、BNP パリバ・フォルティスの完全な四半期業績が初めて当グループの業績に貢献した四半期でした。BNP パリバ・フォルティスは 2009 年 5 月 12 日以降より当グループの連結対象となっているため、2008 年度の比較財務情報は存在しません。2009 年度第 2 四半期の財務情報との部分的な比較は困難です。

合計で 22 億 3300 万ユーロとなった営業収益は、リテール・バンキング・ネットワークにおける好調な事業や、市場関連業務における好調な業績により牽引されました。

営業費用は 12 億 9000 万ユーロで、営業総利益は 9 億 4300 万ユーロでした。リスク費用は 3 億 3000 万ユーロとなり、依然として高水準でした。リスク費用は、欧州での商業銀行業務(ミッドキャップ)にかかるポートフォリオ・ベースで 1 億 5000 万ユーロの引当金と、貿易関連事業にかかるポートフォリオ・ベースで 3000 万ユーロの引当金の影響を受けました。これらにより税引前利益の合計は 5 億 7500 万ユーロ(取得原価配分調整に伴う 3 億 2000 万ユーロの償却額



を含む)となりました。税金と少数株主帰属純利益控除後の BNP パリバ・フォルティスの株主帰属当期純利益の合計は 2 億 7700 万ユーロとなりました。

この大幅な貢献額は、商業フランチャイズの安定により実現したものです。

ベルギーのリテール・バンキング部門における預金残高の合計は 659 億ユーロとなり、2009 年度第 1 四半期以降増加しています。またローン残高も安定推移しました。ルクセンブルクのリテール・バンキング部門においては、ローン残高が若干増加し、預金残高が安定推移しました。フォルティス・インベストメントでは運用資産残高が 1630 億ユーロに増加しました。増加の理由は、業績の押し上げ効果が生じたことや、資産流出が減速したことにあります(当四半期は 30 億ユーロの流出、2009 年度第 2 四半期は 60 億ユーロの流出、2009 年度第 1 四半期は 90 億ユーロの流出、2008 年度下半期は 230 億ユーロの流出)。プライベート・バンキング部門における運用資産残高の合計は 450 億ユーロとなり、2009 年度第 2 四半期と比べ 20 億ユーロ増加しました。増加の理由は、資産流出に歯止めがかかった(2009 年度第 2 四半期は 20 億ユーロの流出)ことや、業績の押し上げ効果が生じたことにあります。

マーチャント・バンキング部門は、特に融資残高が減少したにもかかわらず受取利息純額が安定推移したファイナンス部門や、グローバル・マーケット部門において、特に金利関連業務に起因する優れた営業収益牽引力を維持しました。過渡期におけるこの優れた業績は、リスク加重資産や市場リスクの低減に向けた取り組みを継続する中で達成されたものです。

買収日の時点でフォルティス・グループが有する資産および負債を用いて公正価値を算定するための取り組みは現在も継続されています。第 3 四半期においては、関連する新たな公正価値調整額は生じていません。

## ソルベンシーがさらに強化

業界最高水準の対策と同等の流動性管理策を積極的に実施したおかげで、当グループは、2009 年度の中長期債券発行計画に基づく発行を既に完了し、380 億ユーロを市場から調達しました。この際には、同業の金融グループの中で最低水準の CDS スプレッドを活用しました。9 月 30 日現在の預貸率は 118%(2007 年 12 月 31 日現在では 128%)でした。

2009 年 9 月 30 日現在の当グループの Tier 1 資本<sup>9</sup>は 616 億ユーロとなり、2009 年 6 月 30 日比では 13 億ユーロ、また 2008 年 12 月 31 日比では 198 億ユーロ増加しました。これには、当四半期における資本の有機的創出 16 億ユーロ、従業員を対象とした増資(3 億ユーロ増)、再保険子会社の売却(3 億ユーロ増)による増加に加え、42 億ユーロの増資(最終増資金額確定前のプロフォーマ・ベース)と 10 月 28 日に完了したフランス政府からの 51 億ユーロの無議決権株式の買戻しが含まれます。

これらにより当グループは、資本の有機的創出をもたらす高い能力を証明しました。

BNP パリバは、当四半期もリスク加重資産を最適な方法で管理できました。2009 年度上半期において既に 430 億ユーロ削減済のリスク加重資産は、特に金融投資やコーポレートバンキング・投資銀行事業部門において、当四半期中にさらに 320 億ユーロ減少しました。前四半期比 5.0% 減となり、リスク加重資産は 6190 億ユーロとなりました。

<sup>9</sup> プロ・フォーマ・ベースの数値で、資本増加分と無議決権株式の買戻額を含む

2009 年 9 月 30 日現在の Tier 1 比率<sup>9</sup>は 10.0%(2009 年 6 月 30 日現在では 9.3%、2008 年 12 月 31 日現在では 7.8%)でした。2009 年 6 月 30 日と比べ 70 ベーシス・ポイント増加した理由は、当四半期における資本の有機的創出(25 ベーシス・ポイント増)、従業員を対象とした増資(5 ベーシス・ポイント増)、再保険子会社の売却(5 ベーシス・ポイント増)、リスク加重資産の減少(50 ベーシス・ポイント増)にあり、資本増加と 10 月 28 日に完了した無議決権株式の買戻し(15 ベーシス・ポイント減)についても考慮されています。2009 年 9 月 30 日現在のエクイティ Tier 1 比率<sup>9</sup>は 7.8%となり、6 月 30 日と比べ 60 ベーシス・ポイント、2008 年 12 月 31 日と比べ 240 ベーシス・ポイント増加しました。

当グループの着実な利益創出力により更に強化されたこのソルベンシー・レベルは、BNP パリバの多様かつ統合的なビジネス・モデルに照らして十分なものです。

\*\*\*

以上の業績に対するコメントとして、BNP パリバのボードゥアン・プロ最高経営責任者は、次のように述べています。

「BNP パリバは、さまざまな事業を通じて、引続きお客様や実体経済への貢献を果たしています。この事業には、特に欧州 4 カ国の国内市場における個人や小規模企業のお客様向けのリテール・バンキング事業や、法人や機関投資家のお客様向けのコーポレートバンキング・投資銀行事業、また預金者や投資家のお客様向けの資産運用および証券管理事業や、保険サービス事業があります。

当行のビジネスモデルは、多様性があると共にお客様のニーズや需要に焦点を当てた統合的なものであり、市場危機の環境下においても堅牢さを示すかたわら経済の回復を支援していく上で必要な資本の創出を可能にしています。」

## 連結損益計算書

	3Q09	3Q08	3Q09/ 3Q08	2Q09	3Q09/ 2Q09	9M09	9M08	9M09/ 9M08
(単位：百万ユーロ)								
営業収益	10,663	7,614	+40.0%	9,993	+6.7%	30,133	22,526	+33.8%
営業費用および減価償却費	-6,037	-4,635	+30.2%	-5,818	+3.8%	-17,203	-14,092	+22.1%
営業総利益	4,626	2,979	+55.3%	4,175	+10.8%	12,930	8,434	+53.3%
リスク費用	-2,300	-1,992	+15.5%	-2,345	-1.9%	-6,471	-3,200	n.s.
営業利益	2,326	987	n.s.	1,830	+27.1%	6,459	5,234	+23.4%
関連会社損益	61	120	-49.2%	59	+3.4%	104	268	-61.2%
その他の営業外項目	58	36	+61.1%	281	-79.4%	342	390	-12.3%
営業外損益	119	156	-23.7%	340	-65.0%	446	658	-32.2%
税引前利益	2,445	1,143	n.s.	2,170	+12.7%	6,905	5,892	+17.2%
法人税	-918	-101	n.s.	-376	n.s.	-1,952	-1,117	+74.8%
少数株主帰属純利益	-222	-141	+57.4%	-190	+16.8%	-486	-388	+25.3%
株主帰属当期純利益	1,305	901	+44.8%	1,604	-18.6%	4,467	4,387	+1.8%
コスト／インカム率						57.1%	62.6%	-5.5 pt

BNP パリバの 2009 年度第 3 四半期の財務開示物は、本プレスリリース、および本文書に添付してある表示物に含まれています。

法令上要求される開示物は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「業績 (Results)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典の第 L.451-1-2 条の条文および [訳補：フランス] 金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) 一般規則の第 222-1 条以降の条文に従って BNP パリバが公表しています。

## 2009 年度第 3 四半期のコア事業の業績

(単位：百万ユーロ)	フランス国内 リテール・ バンキング事業	BNL bc	その他 リテール・ バンキング	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	BNP パリバ・ フォルティス*	各事業部門	その他	グループ 全体 (合計)
<b>営業収益</b>	<b>1,447</b>	<b>730</b>	<b>2,314</b>	<b>1,207</b>	<b>2,934</b>	<b>2,233</b>	<b>10,865</b>	<b>-202</b>	<b>10,663</b>
対前年同期比	+2.3%	+3.5%	+6.6%	+0.2%	+42.6%	n.s.	+43.9%	n.s.	+40.0%
対前四半期比	-1.0%	+2.2%	+0.2%	+0.0%	-12.4%	+55.0%	+20.1%	-58.9%	+6.7%
営業費用および減価償却費	-1,011	-422	-1,205	-852	-1,122	-1,290	-5,902	-135	-6,037
対前年同期比	+2.7%	-1.2%	-3.5%	-0.4%	+13.4%	n.s.	+31.0%	+3.1%	+30.2%
対前四半期比	+6.2%	-0.9%	-6.8%	+0.8%	-23.5%	+86.1%	+18.4%	-4.9%	+3.8%
<b>営業総利益</b>	<b>436</b>	<b>308</b>	<b>1,109</b>	<b>355</b>	<b>1,812</b>	<b>943</b>	<b>4,963</b>	<b>-337</b>	<b>4,626</b>
対前年同期比	+1.2%	+10.8%	+20.4%	+1.4%	+69.5%	n.s.	+62.8%	n.s.	+55.3%
対前四半期比	-14.5%	+6.9%	+9.0%	-1.9%	-3.8%	+26.1%	+22.2%	-46.8%	+10.8%
リスク費用	-110	-173	-1,124	13	-572	-330	-2,296	-4	-2,300
対前年同期比	n.s.	+51.8%	n.s.	n.s.	-44.6%	n.s.	+19.3%	-94.0%	+15.5%
対前四半期比	-15.4%	+20.1%	+12.6%	n.s.	-23.1%	+11.9%	+12.6%	-63.6%	-1.9%
<b>営業利益</b>	<b>326</b>	<b>135</b>	<b>-15</b>	<b>368</b>	<b>1,240</b>	<b>613</b>	<b>2,667</b>	<b>-341</b>	<b>2,326</b>
対前年同期比	-16.6%	-17.7%	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
対前四半期比	-14.2%	-6.3%	n.s.	+8.6%	+8.8%	+35.3%	+31.9%	-47.1%	+27.1%
関連会社損益	0	0	20	5	2	-5	22	39	61
その他の営業外項目	0	0	-1	-1	-6	-33	-41	99	58
<b>税引前利益</b>	<b>326</b>	<b>135</b>	<b>4</b>	<b>372</b>	<b>1,236</b>	<b>575</b>	<b>2,648</b>	<b>-203</b>	<b>2,445</b>
対前年同期比	-16.4%	-17.7%	-99.1%	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
対前四半期比	-14.2%	-6.9%	-92.9%	+16.6%	+7.9%	+21.3%	+29.5%	-41.8%	+12.7%

(単位：百万ユーロ)	フランス国内 リテール・ バンキング事業	BNL bc	その他 リテール・ バンキング	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	BNP パリバ・ フォルティス*	各事業部門	その他	グループ 全体 (合計)
<b>営業収益</b>	<b>1,447</b>	<b>730</b>	<b>2,314</b>	<b>1,207</b>	<b>2,934</b>	<b>2,233</b>	<b>10,865</b>	<b>-202</b>	<b>10,663</b>
前年同期	1,415	705	2,170	1,205	2,058	0	7,553	61	7,614
前四半期	1,462	714	2,310	1,207	3,351	1,441	9,044	-492	9,993
営業費用および減価償却費	-1,011	-422	-1,205	-852	-1,122	-1,290	-5,902	-135	-6,037
前年同期	-984	-427	-1,249	-855	-989	0	-4,504	-131	-4,635
前四半期	-952	-426	-1,293	-845	-1,467	-693	-4,983	-142	-5,818
<b>営業総利益</b>	<b>436</b>	<b>308</b>	<b>1,109</b>	<b>355</b>	<b>1,812</b>	<b>943</b>	<b>4,963</b>	<b>-337</b>	<b>4,626</b>
前年同期	431	278	921	350	1,069	0	3,049	-70	2,979
前四半期	510	288	1,017	362	1,884	748	4,061	-634	4,175
リスク費用	-110	-173	-1,124	13	-572	-330	-2,296	-4	-2,300
前年同期	-40	-114	-533	-206	-1,032	0	-1,925	-67	-1,992
前四半期	-130	-144	-998	-23	-744	-295	-2,039	-11	-2,345
<b>営業利益</b>	<b>326</b>	<b>135</b>	<b>-15</b>	<b>368</b>	<b>1,240</b>	<b>613</b>	<b>2,667</b>	<b>-341</b>	<b>2,326</b>
前年同期	391	164	388	144	37	0	1,124	-137	987
前四半期	380	144	19	339	1,140	453	2,022	-645	1,830
関連会社損益	0	0	20	5	2	-5	22	39	61
前年同期	-1	0	23	-8	0	0	14	106	120
前四半期	0	0	9	6	0	23	15	21	59
その他の営業外項目	0	0	-1	-1	-6	-33	-41	99	58
前年同期	0	0	40	-2	1	0	39	-3	36
前四半期	0	1	28	-26	5	-2	8	275	281
<b>税引前利益</b>	<b>326</b>	<b>135</b>	<b>4</b>	<b>372</b>	<b>1,236</b>	<b>575</b>	<b>2,648</b>	<b>-203</b>	<b>2,445</b>
前年同期	390	164	451	134	38	0	1,177	-34	1,143
前四半期	380	145	56	319	1,145	474	2,045	-349	2,170
法人税									-175
少数株主帰属純利益									-123
<b>株主帰属当期純利益</b>						<b>277</b>			<b>1,305</b>

\* 参考情報：2009 年度第 2 四半期は、買収後の 5 月 12 日から 6 月 30 日までの期間を表している。



## 2009 年度 9 ヶ月間累計のコア事業の業績

(単位：百万ユーロ)	フランス国内 リテール・ バンキング事業	BNL bc	その他 リテール・ バンキング	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	BNP パリバ・ フォルティス*	各事業部門	その他	グループ 全体 (合計)
<b>営業収益</b>	<b>4,380</b>	<b>2,154</b>	<b>6,914</b>	<b>3,561</b>	<b>9,981</b>	<b>3,674</b>	<b>30,664</b>	<b>-531</b>	<b>30,133</b>
対前年同期比	+1.3%	+4.8%	+7.5%	-7.8%	+91.2%	n.s.	+40.0%	n.s.	+33.8%
営業費用および減価償却費	-2,905	-1,260	-3,780	-2,517	-4,359	-1,983	-16,804	-399	-17,203
対前年同期比	+0.7%	-0.4%	+2.9%	-1.9%	+36.3%	n.s.	+23.7%	-21.1%	+22.1%
<b>営業総利益</b>	<b>1,475</b>	<b>894</b>	<b>3,134</b>	<b>1,044</b>	<b>5,622</b>	<b>1,691</b>	<b>13,860</b>	<b>-930</b>	<b>12,930</b>
対前年同期比	+2.4%	+13.0%	+13.6%	-19.5%	n.s.	n.s.	+66.8%	n.s.	+53.3%
リスク費用	-329	-424	-3,035	-23	-2,013	-625	-6,449	-22	-6,471
対前年同期比	n.s.	+60.6%	n.s.	-88.8%	+71.8%	n.s.	n.s.	-66.2%	n.s.
<b>営業利益</b>	<b>1,146</b>	<b>470</b>	<b>99</b>	<b>1,021</b>	<b>3,609</b>	<b>1,066</b>	<b>7,411</b>	<b>-952</b>	<b>6,459</b>
対前年同期比	-14.2%	-10.8%	-92.8%	-6.4%	n.s.	n.s.	+43.2%	n.s.	+23.4%
関連会社損益	0	0	43	3	0	18	64	40	104
その他の営業外項目	0	1	29	-31	1	-35	-35	377	342
<b>税引前利益</b>	<b>1,146</b>	<b>471</b>	<b>171</b>	<b>993</b>	<b>3,610</b>	<b>1,049</b>	<b>7,440</b>	<b>-535</b>	<b>6,905</b>
対前年同期比	-14.2%	-10.8%	-89.3%	-9.7%	n.s.	n.s.	+36.9%	n.s.	+17.2%
法人税						-279			-1,952
少数株主帰属純利益						-232			-486
<b>株主帰属当期純利益</b>						<b>538</b>			<b>4,467</b>
年率換算の税引後株主資本利益率									11.0%

\* 参考情報：2009 年度 9 ヶ月間累計は、買収後の 5 月 12 日から 9 月 30 日までの期間を表している。

## 四半期決算

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09	3Q09
(単位：百万ユーロ)							
<b>グループ事業</b>							
営業収益	7,395	7,517	7,614	4,850	9,477	9,993	10,663
営業費用および減価償却費	-4,605	-4,852	-4,635	-4,308	-5,348	-5,818	-6,037
営業総利益	2,790	2,665	2,979	542	4,129	4,175	4,626
リスク費用	-546	-662	-1,992	-2,552	-1,826	-2,345	-2,300
営業利益	2,244	2,003	987	-2,010	2,303	1,830	2,326
関連会社損益	85	63	120	-51	-16	59	61
その他の営業外項目	345	9	36	93	3	281	58
税引前利益	2,674	2,075	1,143	-1,968	2,290	2,170	2,445
法人税	-570	-446	-101	645	-658	-376	-918
少数株主帰属純利益	-123	-124	-141	-43	-74	-190	-222
株主帰属当期純利益	1,981	1,505	901	-1,366	1,558	1,604	1,305

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09	3Q09
(単位：百万ユーロ)							
<b>フランス国内リテール・バンキング(フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む)</b>							
営業収益	1,521	1,516	1,470	1,442	1,524	1,516	1,504
うち受取利息純額	827	819	831	821	876	865	849
うち手数料	694	697	639	621	648	651	655
営業費用および減価償却費	-975	-985	-1,011	-1,012	-970	-980	-1,041
営業総利益	546	531	459	430	554	536	463
リスク費用	-29	-37	-40	-97	-89	-130	-110
営業利益	517	494	419	333	465	406	353
営業外損益	0	1	-1	1	0	0	0
税引前利益	517	495	418	334	465	406	353
資産運用および証券管理事業帰属利益	-35	-32	-28	-22	-25	-26	-27
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	482	463	390	312	440	380	326
<b>PEL/CEL の影響を除くフランス国内リテール・バンキング(フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む)</b>							
営業収益	1,520	1,514	1,465	1,444	1,528	1,530	1,525
うち受取利息純額	826	817	826	823	880	879	870
うち手数料	694	697	639	621	648	651	655
営業費用および減価償却費	-975	-985	-1,011	-1,012	-970	-980	-1,041
営業総利益	545	529	454	432	558	550	484
リスク費用	-29	-37	-40	-97	-89	-130	-110
営業利益	516	492	414	335	469	420	374
営業外損益	0	1	-1	1	0	0	0
税引前利益	516	493	413	336	469	420	374
資産運用および証券管理事業帰属利益	-35	-32	-28	-22	-25	-26	-27
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	481	461	385	314	444	394	347
<b>フランス国内リテール・バンキング(フランス国内プライベート・バンキングの 3分の2を含む)</b>							
営業収益	1,456	1,454	1,415	1,392	1,471	1,462	1,447
営業費用および減価償却費	-945	-955	-984	-984	-942	-952	-1,011
営業総利益	511	499	431	408	529	510	436
リスク費用	-29	-37	-40	-97	-89	-130	-110
営業利益	482	462	391	311	440	380	326
営業外損益	0	1	-1	1	0	0	0
税引前利益	482	463	390	312	440	380	326

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09	3Q09
(単位：百万ユーロ)							
<b>BNL バンカ・コメルシアーレ(イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む)</b>							
営業収益	680	685	710	725	715	721	737
営業費用および減価償却費	-417	-430	-432	-478	-416	-431	-427
営業総利益	263	255	278	247	299	290	310
リスク費用	-84	-66	-114	-147	-107	-144	-173
営業利益	179	189	164	100	192	146	137
営業外損益	0	1	0	0	0	1	0
税引前利益	179	190	164	100	192	147	137
資産運用および証券管理事 業帰属利益	-2	-3	0	0	-1	-2	-2
<b>BNL bc の税引前利益</b>	<b>177</b>	<b>187</b>	<b>164</b>	<b>100</b>	<b>191</b>	<b>145</b>	<b>135</b>
<b>BNL バンカ・コメルシアーレ(イタリア国内プライベート・バンキングの 3分の2を含む)</b>							
営業収益	674	677	705	719	710	714	730
営業費用および減価償却費	-413	-425	-427	-472	-412	-426	-422
営業総利益	261	252	278	247	298	288	308
リスク費用	-84	-66	-114	-147	-107	-144	-173
営業利益	177	186	164	100	191	144	135
営業外損益	0	1	0	0	0	1	0
税引前利益	177	187	164	100	191	145	135
<b>BNP パリバ・フォルティス*</b>							
営業収益						1,441	2,233
営業費用および減価償却費						-693	-1,290
営業総利益						748	943
リスク費用						-295	-330
営業利益						453	613
営業外損益						21	-38
税引前利益						474	575
法人税						-104	-175
少数株主損益						-109	-123
株主帰属当期純利益						261	277
<b>バンクウエスト</b>							
営業収益	509	485	433	600	558	544	542
営業費用および減価償却費	-261	-247	-263	-299	-309	-316	-269
営業総利益	248	238	170	301	249	228	273
リスク費用	-101	-123	-121	-283	-279	-299	-342
営業利益	147	115	49	18	-30	-71	-69
営業外損益	4	0	1	-1	1	1	0
税引前利益	151	115	50	17	-29	-70	-69
<b>パーソナル・ファイナンス</b>							
営業収益	912	944	968	968	1,045	1,063	1,076
営業費用および減価償却費	-503	-517	-518	-563	-521	-515	-489
営業総利益	409	427	450	405	524	548	587
リスク費用	-230	-274	-330	-384	-421	-461	-501
営業利益	179	153	120	21	103	87	86
関連会社損益	21	17	18	28	12	17	12
その他の営業外項目	0	0	-1	110	1	26	-1
税引前利益	200	170	137	159	116	130	97

\* 参考情報：2009 年度第 2 四半期は、買収後の 5 月 12 日から 6 月 30 日までの期間を表している。

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09	3Q09
(単位：百万ユーロ)							
<b>エマージング・リテール・バンキング</b>							
営業収益	403	440	495	558	475	444	404
営業費用および減価償却費	-262	-276	-289	-319	-279	-284	-268
営業総利益	141	164	206	239	196	160	136
リスク費用	-36	-22	-43	-276	-162	-195	-219
営業利益	105	142	163	-37	34	-35	-83
関連会社損益	3	5	5	1	6	-5	4
その他の営業外項目	111	0	40	-4	0	1	0
税引前利益	219	147	208	-40	40	-39	-79
<b>エクイップメント・ソリューション</b>							
営業収益	284	284	274	225	212	259	292
営業費用および減価償却費	-176	-182	-179	-179	-173	-178	-179
営業総利益	108	102	95	46	39	81	113
リスク費用	-16	-52	-39	-48	-51	-43	-62
営業利益	92	50	56	-2	-12	38	51
関連会社損益	-3	-1	0	-11	-4	-3	4
その他の営業外項目	0	0	0	-1	0	0	0
税引前利益	89	49	56	-14	-16	35	55
<b>資産運用および証券管理</b>							
営業収益	1,263	1,396	1,205	1,071	1,147	1,207	1,207
営業費用および減価償却費	-845	-867	-855	-856	-820	-845	-852
営業総利益	418	529	350	215	327	362	355
リスク費用	4	-4	-206	-1	-13	-23	13
営業利益	422	525	144	214	314	339	368
関連会社損益	8	11	-8	-3	-8	6	5
その他の営業外項目	0	0	-2	-1	-4	-26	-1
税引前利益	430	536	134	210	302	319	372
<b>資産管理(富裕層向け資産運用業務)</b>							
営業収益	600	662	568	543	548	607	622
営業費用および減価償却費	-440	-448	-431	-436	-418	-430	-438
営業総利益	160	214	137	107	130	177	184
リスク費用	2	0	-10	-16	-4	-23	-7
営業利益	162	214	127	91	126	154	177
関連会社損益	0	3	1	0	-2	2	-4
その他の営業外項目	0	0	0	1	-4	0	-1
税引前利益	162	217	128	92	120	156	172
<b>保険</b>							
営業収益	353	392	368	205	299	303	336
営業費用および減価償却費	-173	-181	-182	-175	-170	-181	-182
営業総利益	180	211	186	30	129	122	154
リスク費用	2	-4	-41	-2	-8	-1	17
営業利益	182	207	145	28	121	121	171
関連会社損益	8	8	-10	-3	-6	4	8
その他の営業外項目	0	0	-2	-1	0	-26	0
税引前利益	190	215	133	24	115	99	179



	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09	3Q09
(単位：百万ユーロ)							
<b>証券管理</b>							
営業収益	310	342	269	323	300	297	249
営業費用および減価償却費	-232	-238	-242	-245	-232	-234	-232
営業総利益	78	104	27	78	68	63	17
リスク費用	0	0	-155	17	-1	1	3
営業利益	78	104	-128	95	67	64	20
営業外損益	0	0	1	-1	0	0	1
税引前利益	78	104	-127	94	67	64	21
<b>コーポレートバンキング・投資銀行</b>							
営業収益	1,311	1,852	2,058	-248	3,696	3,351	2,934
営業費用および減価償却費	-952	-1,256	-989	-514	-1,770	-1,467	-1,122
営業総利益	359	596	1,069	-762	1,926	1,884	1,812
リスク費用	-54	-86	-1,032	-1,305	-697	-744	-572
営業利益	305	510	37	-2,067	1,229	1,140	1,240
関連会社損益	1	0	0	0	-2	0	2
その他の営業外項目	12	13	1	-1	2	5	-6
税引前利益	318	523	38	-2,068	1,229	1,145	1,236
<b>アドバイザーおよびキャピタルマーケット</b>							
営業収益	708	1,139	1,368	-1,149	2,920	2,641	2,171
うち株式会社およびアドバイザー	316	750	492	-1,899	33	710	620
うちフィクスト・インカム	392	389	876	750	2,887	1,931	1,551
営業費用および減価償却費	-662	-955	-695	-295	-1,485	-1,178	-833
営業総利益	46	184	673	-1,444	1,435	1,463	1,338
リスク費用	-94	-43	-909	-1,076	-277	-297	-268
営業利益	-48	141	-236	-2,520	1,158	1,166	1,070
関連会社損益	1	0	0	0	-2	0	2
その他の営業外項目	12	12	1	0	2	5	-6
税引前利益	-35	153	-235	-2,520	1,158	1,171	1,066
<b>ファイナンスング業務</b>							
営業収益	603	713	690	901	776	710	763
営業費用および減価償却費	-290	-301	-294	-219	-285	-289	-289
営業総利益	313	412	396	682	491	421	474
リスク費用	40	-43	-123	-229	-420	-447	-304
営業利益	353	369	273	453	71	-26	170
営業外損益	0	1	0	-1	0	0	0
税引前利益	353	370	273	452	71	-26	170
<b>コーポレート・センター(BNP パリバ・キャピタルおよびクレピエールを含む)</b>							
営業収益	583	-15	61	-435	163	-492	-202
うち BNP パリバ・キャピタル	135	44	3	-30	115	-74	-39
営業費用および減価償却費	-248	-127	-131	-122	-122	-142	-135
うち BNL 事業再構築費用	-146	-20	-19	-54	-5	0	0
うちフォルティス事業再構築費用	0	0	0	0	0	-20	-33
営業総利益	335	-142	-70	-557	41	-634	-337
リスク費用	0	2	-67	-11	-7	-11	-4
営業利益	335	-140	-137	-568	34	-645	-341
関連会社損益	55	29	106	-67	-20	21	39
その他の営業外項目	218	-4	-3	-9	3	275	99
税引前利益	608	-115	-34	-644	17	-349	-203

## 目次

純利益が 13 億ユーロに達し、力強い利益創出力を証明.....	2
極めて堅調な業績.....	2
リテール・バンキング.....	2
資産運用および証券管理事業部門.....	6
コーポレートバンキング・投資銀行(CIB)事業部門.....	7
BNP パリバ・フォルティス.....	8
ソルベンシーがさらに強化.....	9
連結損益計算書.....	11
2009 年度第 3 四半期のコア事業の業績.....	12
2009 年度 9 カ月間累計のコア事業の業績.....	13
四半期決算.....	14
目次.....	18

本表示物に含まれる数値は、未監査の数値です。

本表示物には、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本表示物に含まれる予測的な記述は本表示物発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新しい情報や将来の事象によって予測的な記述を公に修正もしくはアップデートする責任を負いません。

本表示物に含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、個別に真実たることを確認したものではなく、ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその正当性、精密性、完全性または正確性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともいかなる落ち度に対しても責任を負わず、また本表示物あるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本表示物やここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。